活気あふれる姫宮通り

（12月8日　河津寄って軽トラ市）

迎春

町民の思いを真摯に受けとめ 第４次総合計画の着実な推進を

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、健やかに希望に満ちた初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は町政各般にわたり、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

国におきましては、一昨年暮れの総選挙におきまして、自民党が圧勝し政権奪還をするとともに、自公連立による安倍内閣の発足、そして昨年７月参議院の与党の圧勝により衆参ねじれの解消など、それに伴う経済対策も株価の上昇など効をなしておりますが、その経済効果はまだまだ地方へは届かない感じもいたします。

また、県におきましても6月に県知事選が行われ、川勝平太知事の再選に伴い県土の宝である富士山を輝かせる光陰のごとく県政発展のための政策が実行されていくと期待をしております。

そのような中、当町を取り巻く環境は観光振興策や地震津波などの災害対策、道路や医療問題と課題は多岐多様にわたり山積みしておりますが、私の政治姿勢である「共生・共創・共働」をもって町民の皆さまの知恵と力を借りながら、その実行に向け邁進してまいりたいと考えております。

昨年末には町内23地区に出向かせていただき、町政懇談会を開催し、少子高齢化への対応、産業振興、基盤整備、教育問題など多くの意見、要望をいただきました。町民の考え思いを真摯に受けとめさせていただき、将来をしっかりと見据え、第４次総合計画の着実な推進を図るべく取り組んでいきたいと考えます。

町の宝である子どもたちが健やかにのびのびと育つまちづくり、文化・生涯活動をとおしての生きがいづくり、高齢者、障がい者が安心して暮らせるまちづくりなど県が進める「富国有徳の理想郷〝ふじのくに〟」づくりにならい「住んでよし訪れてよし」「生んでよし育ててよし」「学んでよし働いてよし」の郷土「かわづ」を町民の皆さまとともに作りあげていきたいと思いますので、更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が町民の皆さまにとって素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。

河津町長　相馬　宏行

希望に溢れる郷土の再生と 町民の安全と安心、繁栄に努める

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、健やかに新たなる年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年の夏季は近年にない少雨猛暑であり集中豪雨による西伊豆町の災害、10月には伊豆大島での台風による山津波災害は地震津波対策に追われた矢先の想定外の災害でした。

また、一年を振り返りますとＴＰＰへの協議参加・消費税増税の決定など経済状況の変化と不安の中、秋には全国規模でのレストランなどでの食材誤表示があったことはわが国の食の信用にかげりをもたらしかねない出来事でもありましたが富士山世界遺産登録、２０２０年の東京オリンピック・パラリンピック開催決定は明るい話題でした。

新年早々には河津町の特産のひとつであるカーネーションの全国大会が東河地区で開催され河津桜とともに「花の町かわづ」が全国に情報発信されます。河津バガテル公園に併設された見本園が農業施設でありながら観光施設となりバラとともに河津バガテル公園をはじめ観光客の増加に転じてほしいと考えます。

見高地区ではサンシップ今井浜跡に地域活性化の拠点整備が行われることになっています。この施設も他の施設と連携し来遊客の満足とリピートに期待を寄せるところです。

このような社会情勢の中、今年は春の町長選挙、秋の町議会議員選挙が実施されます。４年毎の人心一新により一歩でも町民の皆さまの安全と安心さらには繁栄を追い求め更なる努力が求められています。

希望に溢れる郷土再生のため町民の皆さまのご理解、ご協力をお願いし、併せて皆さまの健康、平安を願い失礼ながら書面からの新年のあいさつとさせていただきます。

河津町議会議長　川下　英一

特集

河津町青少年の主張大会 思いを込めたメッセージ

11月は「子ども・若者育成支援強調月間」です。町では、青少年健全育成の一環として、次代を担う子どもたちの夢や社会への意見、日常生活で感じたことなどを発表する「第12回河津町青少年の主張大会」を開催しました。

発表者全員で記念撮影

教育委員会主催の第12回河津町青少年の主張大会が11月24日、役場ふれあいホールで行われ、小学生から高校生まで代表者9人が河津桜まつりの活性化や将来の夢、自分への問いかけなどについて発表しました。会場には、発表者の家族や関係者ら約100人が出席し、りりしく、はきはきと話す子どもたちの発表に耳を傾けていました。

本大会は、青少年健全育成の一環として、町の青少年が社会における自らの役割と責任を自覚し、広い視野と豊かな情操をもって、自分の考えを自分の言葉で発表する場であり、毎年行われています。

代表者9人の主張内容の抜粋を紹介します。未来を担う子どもたちが考えていることをぜひご覧ください。

ごみのない町づくり

西小学校 6年
小河　亜利さん

私は、無だな物を買ってしまったり、いらなくなった物をどんどん捨ててしまったりしてしまうことがありました。だから、これからは、無だな物をなるべく買わないようにして、ごみを増やさないようにしようと、心に決めました。

また、私は、学校でも気づいたら自分からごみを拾うようにしています。また、道に捨てていたり、そのまま置いておくような人を見かけたら、呼びかけていきたいと思っています。

河津町の自然がもっと美しくなるように、河津町を訪れる観光客の方々に、もっと河津の良さを知ってもらえるように、これからも私にできることを探しながら、きれいな河津町を願っていきたいです。

そして、私の大好きな河津が、より多くの人々に好きになってもらえる町づくりをしていきたいです。

ありがとうの言葉

南小学校 6年
村尾　綾香さん

わたしは自分が相手に何かをしたときに、ありがとうと言われた方が気持ちがよいので、何かしてもらったら、恥ずかしがらずに、誰に対してもありがとうと言うように心がけています。

わたしは、言葉は大切だと思います。人に思いを伝えることで、自分の思いを知ってもらえるからです。なかには、思いを伝えるのが苦手な人もいると思います。でも、自分の思いを言葉にして言ってみないとわからないことがたくさんあります。

ありがとうには、「難が有りましたが、おかげさまで無事です。」という意味があるそうです。また、ありがとうは幸せになる魔法の言葉だともいわれています。ありがとうは、小さな幸せに気づく大事な言葉でもあるのです。

わたしは、自分の思いやありがとうの言葉を、いつでも、どこでも、誰にでも言えるような人になりたいと思います。

友達の大切さ

東小学校 6年
入慶田本　晴美さん

わたしが、家の階段をふみ外し、ねんざをしてしまった時のことです。教室移動の時、教科書やノートなどを進んで持ってくれたり、階段を下りる時、横にいて、いっしょに下りてくれたりと、みんなが助けてくれました。『ありがとう』をどれだけ言っても足りないくらい感しゃの気持ちでいっぱいでした。相手にとっては、小さな行動でも、わたしにとっては大きな助けになりました。この時、『友達の大切さ』『友達の優しさ』を改めて実感しました。そして、この日から、友達に優しくするように心がけています。（友達は大切だ。）と感じたあの日から、クラスのみんなとも、だんだん仲良く生活できるようになりました。だから、わたしはけがをした体験は宝物だと思います。

これからは、自分をしっかり持ち、友達のことを考えられるような人になり、いつでもみんなが笑っていられるようなクラスにしていきたいです。

あいさつの大切さ

南小学校 6年
土屋　慶太朗さん

ぼくは、友だちや近所の人、すれ違う人にあいさつをしてもらったら、すごくうれしい気持ちになります。あいさつをすると、その町にいる知らない人とでもコミュニケーションがとれます。そうすることで、あいさつをした人も、してもらった人もうれしく、元気な気持ちになり、その町がどんどん明るくなると思います。

また、ぼくは、なるべく大きな声であいさつをするようにしています。なぜかというと、大きな声であいさつをすると、気持ちがすっきりするからです。そして、もし自分が大きな声であいさつすれば、相手も大きな声であいさつを返してくれると思うからです。

あいさつをすると、自分がいやな気持ちのときでも、元気になれます。また、相手も声をかけてもらえると元気になります。あいさつによって会話ができることもあるかもしれません。だからぼくは、あいさつは大切なコミュニケーションだと思っています。

河津桜まつりを活気づけるために

河津中学校 1年
村串　佳輝さん

みなさんは今の河津桜まつりについてどう思いますか。ぼくは、毎年全国からたくさんの人が来てくれてにぎやかになりうれしいと思います。しかしこれから河津桜まつりをもっと発展させるためには、お客さんの要望や意見を聞いて改善していかなければならないと思います。また、河津町民であるぼくたち自身も、どうすればよいかもっと考えていく必要があると思います。

ぼくは河津桜まつりを活気づけるために、ゴミ拾い、あいさつ、桜合唱の活性化、自分たちで作った手作りマップやチラシを配ること、道案内、プルタブ回収の六つのことを考えました。

しかし、中学生の力でできることには限りがあります。日本中からやって来るたくさんのお客さんに楽しんでもらえるように、大人も子どもも河津町民みんなで力を合わせたり、心がけたりしていくことができたら良いと思います。

人とのつながり

河津中学校 2年
村上　綾野さん

学校生活が充実しているのもたくさんの人の支えがあるのを忘れてはいけない。いつも私を救ってくれる友達。学校に行くから会えるのである。

普段あたりまえのように生活していることをあたりまえだと思ってはいけないと私は思う。学校というものは社会にでた時に重要なことを学ぶことができる通過点だ。友達の大切さに改めて気づかされたのも学校生活を通してだ。

〝人とのつながり〞それは社会にでた時とても大事なことだ。私が社会にでた時に一番大事だと思うのは人間関係だ。仕事をやるにあたり、分からないところを先輩から教えてもらうことがあると思う。自分が困った時に周りから助けてもらえるような温かい人間関係を築くことが大切だ。だからこそ中学校生活のうちにあいさつを通して人とのつながりを築きあげることで、助けあうことのできる人間関係を育んでいきたい。

将来の夢

私の将来の夢は、獣医になることです。

獣医師免許を取得して、動物園で働きたいと思っています。獣医という仕事は、動物の命を預かる大変な仕事だと思っています。大好きな動物のために私にできることをしたいと考えています。

私が獣医になるという夢を叶えるための最初のステップは、高校入試に合格することです。そのためには、今以上に勉強に取り組まなければならないと思っています。その中でも力を入れたいのが英語です。今は英語の日常会話のCDを聞いて、英語に慣れる努力をしています。また、今後も授業の予習や復習をしっかりやっていきたいと思います。

私は高校や大学で様々なことを学び、将来動物園で働いて、どんな動物でも診ることができるような獣医になりたいです。そのためにも、これから過ごす時間を大切に使っていきたいです。

河津中学校 3年 稲葉（いなば） 恵莉（えり）さん

心に問いかけるもの

稲取高等学校 1年 岩崎（いわさき） 裟及（さちか）さん

私は今、本当の家族とは何なのか、本当の自分が何なのか分からずにいます。しっかり者、頑張り屋と言われ続け、しっかりしなきゃいけない、頑張らなきゃいけないと、自分を押し殺してみんなが思っている性格を作ってきました。このままでは、父や兄妹に心の壁を作ったままでいることになり、家族や友人の中にいても、辛く孤独を感じたままになってしまうと思います。

家族には何でも打ち明けるようにすれば、家族も居心地のよい場所となるのではないでしょうか。自分の大切な人に、本当の自分をさらけ出せるような強い心を持ち、一歩ずつしっかりと前に踏み出していきたいです。家族は変えることのできない存在で、どんなことがあってもその縁は切れません。当たり前の存在を当たり前と思わず、心に壁を作らないよう、改めて「家族」というものは何なのか、そして自分とは何なのかを考え、見つけていきたいと思います。

未来への一歩　～私の支え～

私は現在女子バレー部に所属しています。実は1学期に勉強との両立に苦しみ部活動をやめようと思ったことがありました。しかし友達や家族の励ましもあり何とかここまで続けることができています。

時間は毎日あっという間に過ぎていってしまいます。一日一日を大切にし、将来の夢に向かって努力し続けたいです。

環境の大きく変わった高校生活は、苦しいことや辛いこと、大変なことのほうが多かったように思います。そんな中私を支えてくれたのは仲間、そして親友の存在です。私はとても人見知りで、新しい環境に慣れて友達ができるかどうかとても不安でした。しかし言いたいことの言える、信頼できる親友に出会えたことで、支えられて頑張ってこられたのだと思います。そんな親友に感謝し、私も親友を支えられるようにこれからも頑張っていきたいです。

下田高等学校 1年 後藤（ごとう） 里佳子（りかこ）さん

青少年健全育成 町の取り組み

青少年健全育成は、いつの時代においても重要な課題の一つです。

町では、青少年の主張大会のほか、各小中学校長や各小中学校PTA会長、各教育関係団体長などで構成する「町青少年問題協議会」を組織して、夏季には青少年非行防止街頭キャンペーンなどを行っています。啓発グッズの配布などを通して、犯罪のない明るい地域社会の実現を呼びかけ、青少年健全育成に努めています。

発表者に相馬町長から感謝状が贈られました

topics

民生委員・児童委員 主任児童委員が決まりました

民生委員・児童委員の一斉改選が12月1日に行われ、26人の民生委員・児童委員と2人の主任児童委員が選任されました。

問 保健福祉課（34）1937

問 社会福祉協議会（34）1286

民生委員・児童委員 主任児童委員とは

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱を受けたボランティアで任期は3年です。住民の立場に立って相談に応じ、必要なサービスが受けられるよう支援します。また、子どもに関わる問題も担当します。

主任児童委員は、子どもの福祉を専門に担当し、学校や関係機関と連携しながら活動しています。

町では、民生委員児童委員協議会を設置し、研修会や定例会、情報交換などを行い委員同士の連携を深めています。

担当地区	委員氏名	担当地区	委員氏名
浜道東	大坪　宏	見高浜西	嶋崎　秀利
浜道西	松本　典子	長　野	三村　正美
笹原下	東　節子	見高入谷	山本　とく江
笹原上	遠藤　直美	梨　本	板垣　みや子
田　中	田中　秀枝	泉奥原	稲葉　たか代
沢　田	後藤　惇	川　横	山城　悟
逆　川	山口　昭子	大　鍋	平川　ふさ江
上　峰	鈴木　はる子	小　鍋	鈴木　幸子
下峰道東	鈴木　綾子	湯ヶ野	坪井　鈴子
下峰道西	菊池　利定	下佐ヶ野	平川　和代
奥谷津	横山　春子	上佐ヶ野・天川	山田　要子
下谷津	黒田　多恵子	筏場・大堰	相馬　友雄
縄　地	鈴木　千恵子	主任児童委員	松濤　瑞枝
見高浜東	鈴木　健彦	主任児童委員	稲本　温代

相馬町長から委嘱書を受けとる委員の皆さん

民生委員徽章…四つ葉のクローバーをバックに民生委員の「み」の文字と児童委員を示す双葉を組み合わせ、平和のシンボル鳩をかたどって愛情と奉仕を表す

さまざまな福祉制度を紹介

民生委員・児童委員は病気などで生活に困っている家庭や高齢者、障がいのある人とその家族などの心配ごとを解決するため、さまざまな福祉制度などを紹介します。

町や関係機関とのつなぎ役として、適切なサービスの提供が図られるよう支援します。

学校との懇談会、募金協力活動、ひとり暮らしの高齢者の安否確認・訪問活動にも取り組み、就労や扶養状況、保育などの事実調査も行います。

一人で悩まず まずは相談を

民生委員・児童委員の活動には守秘義務があります。相談内容や個人の秘密が他に漏れることはありません。生活上の悩みを相談したいとき、福祉制度を利用したいときなどは、気軽に相談してください。

民生委員・児童委員にはそれぞれの担当地区があります。お住まいの担当民生委員がわからない場合はお問い合わせください。

共に支え合う地域社会を目指して

会長　菊池利定さん
（下峰道西地区担当）

私たち民生児童委員は地域福祉の推進者として、地域の皆さまとコミュニケーションを図り、身近な相談相手として活動しています。それぞれの地域に合った地域ぐるみの共に支え合い助け合う地域社会を目指す中、東日本大震災以降、要援護者支援活動において、住民すべてが「要支援者」であるという事実があり、住民自身の自助努力、住民互助の「近助」の重要性は地域の福祉課題であり防災力を高めることとなります。

これからも、地域の皆さまの協力を得るとともに、使命感と情熱を持った活動を展開します。

ZOOM IN KAWAZU

まちの出来事

鮮やかなカーネーションに見入る来園者

多彩で鮮やかな花々

カーネーション見本園開園

かわづカーネーション見本園が12月15日に開園し、5月11日まで開園しています。初日は先着30人にカーネーションの切り花が贈られました。温室は3棟あり、そのうち一般棟には町内で主に出荷されている23品種5,800株が、特別棟にはまだ市場に出ていない試験栽培中の296品種7,500株が栽培されています。開花は例年より若干遅かったものの、来園客は「きれいね」と感心しながら赤や黄、ピンクなどの多彩で鮮やかなカーネーションに見入っていました。

地元の新鮮野菜が販売盛況

見高入谷高原温泉紅葉ふれあいまつり

伊豆見高入谷高原温泉の紅葉ふれあいまつり（同温泉管理組合主催）が11月23日、同温泉で開かれ、家族連れなど多くの来場客でにぎわいました。開始直後から、地元の新鮮野菜やよもぎ大福、山菜おこわなどが飛ぶように売れていました。また、猪鍋とみかん餅の無料サービスも人気を集め、恒例のみかん餅の餅つきには長蛇の列ができていました。

にぎわう地元の新鮮野菜販売コーナー

猪鍋を手渡す伊豆の踊り子
伊豆の踊り子が猪鍋を振る舞う

河津七滝猪まつり

河津七滝観光協会主催の猪まつりが11月20日、初景滝前で行われ、伊豆の踊り子や山伏姿の協会員が猪鍋と滝酒を1杯100円で振る舞い、観光客をもてなしました。観光客は鍋の周りに列をつくり、伊豆の踊り子がよそる温かな猪鍋を味わっていました。会場では、猪肉の焼き肉や焼きしいたけ、アマゴの塩焼きなども販売され大勢の観光客でにぎわいました。

白熱した試合を展開

県B&G剣道大会

県B&G地域海洋センター連絡協議会主催の県B&Gスポーツ大会剣道の部が12月7日、中学校体育館で行われ、町内外から7団体が参加しました。スポーツを通した子どもたち同士の交流を目的に、毎年会場を変えて開催しています。小学生対象の本大会では、気迫がこもった声とともに、白熱した打ち合いが行われ、河津町の天心会Aチームが準優勝の成績を収めました。

白熱した打ち合いをする天心会Aの楠七津芽選手（右）

大噴湯鍋の無料サービスに並ぶ来場客
大噴湯鍋などをサービス

峰温泉大噴湯まつり

下峰区主催の峰温泉大噴湯まつりが11月24日、同公園で開かれ多くの人でにぎわいました。神事の後、地上30㍍に達する大噴湯の噴き上げが行われ、来場客から歓声があがりました。会場では、伊勢エビ入りの大噴湯鍋やアユの塩焼き、名物「大噴湯たまご」が無料で振る舞われました。また、子どもたちの峰龍太鼓が披露され会場を盛り上げていました。

災害時に備え訓練を実施

地域防災訓練

大地震が突発発生したことを想定した地域防災訓練が12月1日に行われ、町民2,207人が参加し各自主防災組織で避難誘導や消火などの訓練を実施しました。田中地区では、防災士の寺林栄さんが「災害時の家庭内における危険性」について講話しました。その後、地元消防団員が竹と毛布を使った担架搬送の方法を説明し、応急救護について確認しました。

担架搬送の方法を説明をする消防団員

伊豆半島のジオポイントを紹介する講師の田畑氏
伊豆のジオについて学ぶ

ジオパーク初級講座

県主催の東伊豆町・河津町ジオパーク講座が12月7日、役場ふれあいホールで行われ、両町から90人が参加しました。伊豆半島ジオガイド協会会長の田畑朝惠氏を講師に「南から来た火山の贈り物・わが町のジオパーク・その魅力」をテーマに講演が行われ、ジオガイドの活動発表や伊豆半島の成り立ち、東伊豆・河津のジオポイントなどについて紹介しました。

窓口で元気に働く19歳

杉田　美樹さん
すぎた　みき
浜
19歳　O型　さそり座
河津町商工会

今回紹介するフレッシュさんは、商工会窓口で元気に働く杉田美樹さんです。

「地元のみなさんの役に立つ仕事を」と高校の情報ビジネスクラスで勉強していた時、先生から商工会を紹介され就職が決まったそうです。まだ一年目ということもあり、先輩から毎日指導を受けながら一つ一つ仕事をこなしていく日々ではありますが、優しく丁寧に教えてもらい、ゆっくりでも一つ一つを確実にやる事を心がけているそうです。

これまでは、同学年の人との会話が多く、職場での敬語や話し方など緊張していましたが、今はだいぶ慣れてきたそうです。

性格はのんびりしていてマイペースと話してくれましたが、インタビュー中はハキハキと受け答えし笑顔が好印象で商工会の窓口にはピッタリだと思いました。

趣味は音楽鑑賞で、今はガールズバンドがお気に入りとのこと。また、休日には買い物とツイッターで時間が過ぎていくという今どきの女の子らしい一面も話してくれました。

杉田さんの今後ますますの成長と活躍を期待したいです。

【取材】木下英俊さん（民間広報協力員）

練習に打ち込む鈴木さん

夢 1

目標は箱根駅伝 生涯走り続けたい

鈴木　丈太さん
すずき　じょうた
浜
河津中学校3年

私が今一番がんばっていることは陸上です。陸上は父の影響で小学校1年生から始めました。そのころは走ることが本当は嫌いでした。しかし、小学校5年生の正月に祖父の家に泊まりに行ったことがきっかけで、すべてが変わりました。

泊まっていた四日間、毎日祖父が「走りに行くぞ」と私を誘い、自転車でついてきてくれました。そのときから走ることが習慣となり、今では走らないと気分が悪くなることがあります。生きていくための「食・寝」の中に走ることが加わり、私の中では「食・寝・走」が生活の基本となりました。

将来の夢は「箱根駅伝を走ること」と、川内選手のような「市民ランナーの星になって生涯走り続けること」です。この夢を実現させることは容易ではありませんが、夢に向かってたくさんの本を読んだり、いろいろな人の話を聞いたりして陸上の科学的知識や能力を一層高められる努力をしていきたいです。そして、この夢を必ず実現させたいと思います。

※今月号から新コーナー「夢」をスタートします。小学6年生または中学生が抱く夢について、目指すきっかけになった出来事や実現に向けての努力を紹介します。

図書館だより

No.129

【開館時間】
9:00～18:00 土・日は17時まで
【休館日】月曜・祝日・月末日
【問い合わせ】
町立文化の家図書館 ☎34－1115

http://www.bunkanoie.town.kawazu.shizuoka.jp

図書館カレンダー　１月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

■は休館日です。本の返却は返却ボックスへ。

今月のおはなし会

「さくらの会」読み聞かせ会
日曜日　14時30分～
1月12・19・26日

乳幼児向けの読み聞かせ
「はらぺこあおむしの会」
0･1･2歳児向け　10時10分～10時30分
２・３歳児向け　10時40分～11時
（木曜日）
1月9・16・23・30日
幼児向け　　14時30分～15時
（第２木曜日）
1月9日

小学生向けの読み聞かせ
「時間のはこぶね」
木曜日　　15時50分～16時20分
1月9・16・23・30日

※おはなし会は読み聞かせ室で行います。
変更がある場合は、図書館に掲示します。

フレッシュな新成人の皆さんに！

みずみずしい感性、好奇心、柔軟な思考を持ち合わせている若いときに読書をすることは、後の生き方に大きな実りをもたらします。図書館では、新成人の皆さんに贈る本を多数そろえています。

2014「若い人に贈る読書のすすめ」

■何者　著／朝井リョウ
■神去なあなあ夜話　著／三浦しをん
■色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年　著／村上春樹
■薔薇とビスケット　著／桐衣朝子
■想像ラジオ　著／いとうせいこう
■心　著／姜尚中
■野心のすすめ　著／林真理子
■挫折を愛する　著／松岡修造
■本当に「英語を話したい」キミへ　著／川島永嗣
■恋愛合格！太宰治のコトバ66　著／髙野てるみ
■20歳からの人生の考え方　著／外山滋比呂
■人間にとって成熟とは何か　著／曽野綾子
■伝え方が9割　著／佐々木圭一
■企画立案の教科書　著／齋藤誠
■「働く」ために必要なこと　著／品川裕香
■地方にこもる若者たち　著／阿部真大
■教室内（スクール）カースト　著／鈴木翔
■スミスの本棚新しい自分が見つかる読書　編著／テレビ東京報道局
■死の淵を見た男　著／門田隆将
■やらなきゃゼロ！　著／鈴木直道
■わたしは目で話します　著／たかおまゆみ
■このＴシャツは児童労働で作られました。著／シモン・ストランゲル
■かあちゃん取扱説明書　著／いとうみく
■ぼくは、図書館がすき　著／漆原宏

何者
自分を生き抜くために必要なことは、何なのか。この世界を組み変える力は、どこから生まれ来るのか。影を宿しながら光に向いて進む、就活大学生の自意識をリアルにあぶりだす、書下ろし長編小説。

神去なあなあ夜話
神去村の林業現場へ放り込まれ、村で暮らして１年が過ぎ、20歳になった。山仕事にも慣れ、憧れの直紀さんとドライブに出かけたりもするようになったけれど……。お仕事小説の名手が描く林業エンタメ第二弾！

語りかけから、始めよう。今月のブックスタート
と　き：1月23日(木)13時～
ところ：保健福祉センターふれあいホール
対象者：平成25年9月生まれの赤ちゃん

新着図書案内

ほかにも新着図書があります。
貸出中の場合は予約できます。

書　名（一般書）	著者名	出版社
花のベッドでひるねして	よしもと　ばなな	毎日新聞社
九転十起	出町　譲	幻冬舎
インフェルノ　上・下	ダン・ブラウン／著 越前　敏弥／訳	KADOKAWA
風の帰る場所　続	宮崎　駿	ロッキング・オン
今こそ本気の神社まいり	西邑　清志	主婦の友社

書　名（児童書）	著者名	出版社
はしれディーゼルきかんしゃデーデ	すとう　あさえ／文 鈴木　まもる／絵	童心社
あいうえおんせん	林　木林／作 高畠　那生／絵	くもん出版
なんてだじゃれなお正月	石崎　洋司／作 澤野　秋文／絵	講談社
ラスト・スパート！	横山　充男／作 コマツ　シンヤ／絵	あかね書房
超でっかい恐竜たち	ルパート・マシュース／著 今西　大／訳	鈴木出版

こんにちは保健師です。

●今月のテーマ
若いうちからコツコツと骨粗鬆症予防

保健福祉課　☎34－1937

骨粗鬆症とは、その名のとおり、骨に鬆(す)が入り、骨折を起こしやすくなっている症状を言います。

骨量は男女とも20歳前後まで増え続け、40歳前後から加齢とともに減り始めます。男性はその減り方がゆっくりですが、女性の場合は骨代謝を調整していた女性ホルモン(エストロゲン)が減ることで、骨量も閉経前後から急激に減っていきます。

加齢や更年期からの骨量減少そのものを食い止めることはできませんが、工夫次第で骨量の目減りを抑えることができます。

【1日3食しっかりと】

主食、主菜、副菜2皿を基本に、骨の形成に必要なタンパク質やカルシウム、マグネシウム、骨が作られる時に必要なビタミンD、ビタミンK、大豆イソフラボンを食事からしっかり摂ることが大切です。

カルシウム…牛乳・乳製品、小魚、緑黄色野菜 等
マグネシウム…大豆製品、海藻、玄米、魚介類 等
大豆製品にはイソフラボンも
ビタミンD…青魚、干ししいたけ、きくらげ 等
ビタミンK…納豆、緑黄色野菜、海藻類 等

摂りたい栄養素

【適度な運動】

運動による適度な負荷は骨を強くします。特に最大骨量を増やす点では、若いうちからの運動習慣が効果的です。運動による筋力アップもまた骨折のリスクを下げますので、年齢や体力に適した運動を継続して行うことを心がけましょう。

【避けたい生活習慣】

ダイエットの為の小食や偏った食事は骨を弱くします。特に10～20代は要注意。その他過度のアルコール・カフェインの摂取、喫煙も骨粗鬆症の要因に。思い当たる人は早めの改善を。

保健福祉課　稲葉　臣　保健師

保健のお知らせ

■健康相談および母子健康手帳交付
- 日　時　1月20日(月)
  13時30分～15時30分
  2月3日(月)
  13時30分～15時30分
- 場　所　保健福祉センター

■育児相談

子育てには悩みがつきもの…、一人で悩まないで相談してください。
- 日　時　2月4日(火)
  9時30分～11時30分
- 場　所　保健福祉センター
  ふれあいホール
- 対象者　子育て中の保護者
- 内　容　身体測定、離乳食、育児相談
  歯科衛生士による歯科相談、
  フッ素塗布（希望者）
- 持ち物　母子健康手帳

友だちと一緒に子育てサロンにて

■のびのび発達検査（要予約）
- 日　時　1月27日(月)
- 場　所　保健福祉センター
- 対象者　子どもの言葉の発達やしつけなどで心配なことがある人
- 内　容　児童相談所心理司による精神発達精密検査と個別相談

乳がんマンモグラフィ検診の日程

区　分	実施日時等	申込先
【集団検診】保健福祉センター検診車	1月6日(月)～17日(金)　※12日、13日を除く 8時50分～13時50分　1日最大32人まで 申込は12月で終了しましたが、空きがある場合は受診できます。	保健福祉課 ☎34－1937
【個別検診】佐藤医院（浜）	1月17日(金)、20日(月)、21日(火)、24日(金) 27日(月)、28日(火)、31日(金)/2月3日(月)、4日(火) 7日(金)、10日(月)、14日(金)　午前中　1日5人まで	佐藤医院 ☎32－0551
【個別検診】伊豆今井浜病院（見高）	1月7日(火)～2月14日(金) 火(9時～11時30分、13時～16時)※水・木・金は午後のみ 希望日１週間前までに要電話予約	伊豆今井浜病院 ☎0120－246－789 (受付時間14時～17時)
【個別検診】下田メディカルセンター（下田市）	1月6日(月)～2月28日(金) 月～金(14時～17時) 希望日１週間前までに要電話予約	下田メディカルセンター ☎25－2525 (受付時間8時30分～17時)

早期発見のために乳がん検診

40歳を過ぎたら2年に1度は必ず受診しましょう。

■**対象者**　40歳以上で平成25年度に偶数歳になる女性(奇数歳になる人も受診可能)

■**内容**　マンモグラフィ検診

■**負担金**　1,000円(70歳以上無料)

【問い合わせ】
保健福祉課　☎34－1937

news and info

11人がタスキをつないだ
第14回県市町対抗駅伝競走大会

町代表の選手団

第14回県市町対抗駅伝競走大会が11月30日、県庁前から草薙陸上競技場まで11区間、42・195kmのコースで行われました。河津町チームもチーム一丸となってゴールまで走り抜きました。

また、草薙総合運動場で行われた小学生1500mでは、土屋龍世さん（南小6年）が町の部男子で1位となりました。大会出場選手は次のとおりです。

（1区）平川夕可里（2区）加畑凱（3区）金指柚希（4区）三村有希（5区）上島諒太（6区）鈴木健五（7区）山内秋太（8区）谷和可子（9区）正木瑠香（10区）鈴木丈太（11区）片山径介
1500m走　土屋龍世　佐藤友美

7区山内選手から8区谷選手へのタスキリレー

友好の証に河津桜を寄贈　両市町の交流を期待
海老名市へ河津桜を植樹

相馬宏行町長ら町関係者は11月30日、神奈川県海老名市で海老名市立中野公園開園記念式典に出席し、両市町の友好の証として海老名市長らと河津桜の植樹を行いました。

海老名市のブランド推進委員で河津町出身の平川菊哉さんから町に「公園整備にあたり、早春に咲く河津桜を植えたい」と協力依頼があり、町は河津桜23本を寄贈しました。

両市町の関係者約100人が出席した式典では、相馬町長が「桜を通した新たな交流を期待します」と話しました。

河津桜を植樹する相馬町長(右)、海老名市長(左前)

お詫びと訂正
12月号「税に関する関心を高めよう」で紹介した、静岡県納税貯蓄組合連合会銅賞受賞者は、正しくは「太田千翔子さん」でした。謹んでお詫び申し上げ訂正させていただきます。

長年の功績に栄えある受章
土屋前選挙管理委員会委員長に藍綬褒章

秋の叙勲・褒章と危険業務従事者叙勲の伝達式が県庁で行われ、藍綬褒章を受章した土屋敬逸さん＝見高入谷＝が選挙管理委員会での長年の功績が高く評価され、川勝平太知事から伝達を受けました。

土屋さんは、平成4年12月から平成25年9月まで選挙管理委員会委員を務め、平成13年からは委員長として公正な選挙の管理執行に尽力されました。また、町明るい選挙推進協議会委員として、成人式の模擬投票を行うなど、明るく正しい選挙の推進に尽力されました。

藍綬褒章を受章した土屋さん

暮らしの情報

◆今月の納税◆
町県民税4期　国民健康保険税9期
後期高齢者医療保険料6期　1月31日（金）が納期です。
問 町民生活課　☎34－1928

ひとの動き

戸籍だより

（11月1日～30日届出）

人口と世帯

（12月1日現在）

人　口	7,813	人	前月比（－13）
（男）	3,773	人	
（女）	4,040	人	
世帯数	3,308	世帯	前月比（±0）

相　談

人権・行政・生活相談

日　時　2月5日(水)　10時～15時
場　所　保健福祉センター
ふれあいホール
問 町民生活課　☎34－1932

日本年金機構出張相談

日時・場所
2月7日(金)　下田市役所（要予約）
9時30分～11時30分　13時～14時
問 町民生活課　☎34－1932
（予約は下田市役所国保年金係　☎22－3922まで）

お知らせ

犬・ねこ引き取ります

飼い主のいない犬・ねこの引き取り
日　時　2月12日(水)
11時45分～12時
場　所　役場前駐車場
問 町民生活課　☎34－1932

林退共からのお知らせ

林業退職金共済制度（林退共）に加入していたが、退職金をまだ受け取っていない人を探しています。以前林業の仕事をしていたが、林退共に加入していたかわからない人についてもお調べします。

また、罹災された共済契約者および被共済者の皆さまに対し各種手続き（共済手帳の紛失、退職金の請求など）が生じた場合は、できる限りの範囲で速やかに対応したいと考えています。最寄りの支部または本部へ問い合わせ、ご相談くださるようお願いします。

問 独立行政法人
勤労者退職金共済機構
林業退職金共済事業本部
☎03－6731－2887
http://www.rintaikyo.taisyokukin.go.jp/

今月のふれあい町長室

相馬町長と直接対話できます。事前に電話予約してください。
日　時　1月27日(月)
13時30分～
1人20分程度　団体不可
場　所　役場町長室
予約受付　1月20日(月)～24日(金)
問 まちづくり推進課　☎34－1924

エイズ検査と肝炎検査

検査前日の16時までに電話予約してください。検査は無料・匿名。
日　時　1月23日(木)
問診・採血　9時～12時（要予約）
結果通知　エイズ検査　14時～17時
肝炎検査　約1週間後
場　所　賀茂保健所1階　相談室
問 賀茂保健所　地域医療課
☎24－2052

入札参加資格追加申請を受付

町が発注する平成26年度の建設工事、物品製造などの入札参加資格の追加申請の受け付けを行います。
日　時　1月20日(月)～2月14日(金)
受付場所　総務課検査係
提出方法　持参または郵送（郵送の場合2月14日必着）
有効期間　平成26年4月1日～平成27年3月31日
提出要領　町ホームページを参照してください。書面希望の場合は総務課までお越しください。
問 総務課検査係　☎34－1913

年末年始の労働災害を防ごう

静岡労働局は1月15日まで、年末年始無災害運動を行います。各職場で機械設備の安全点検など、労働災害の防止に努めましょう。
問 静岡労働局
☎054－254－6314

退職金制度なら中退共

中小企業退職金共済制度（中退共）とは、中小企業のための国の退職金制度です。国が掛金の一部を助成します。社外積立のため管理が簡単、掛金は全額非課税で手数料もかかりません。パートさんも加入できます。詳細は下記まで。
問 中小企業退職金共済事業本部
☎03－6907－1234
http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp/

地震保険加入のご案内

地震保険は、政府と損害保険会社が共同で運営する公共性の高い保険で、地震・噴火・津波による居住用の建物とその家財の損害を補償する保険です。お近くの損害保険代理店または損害保険会社にご相談ください。
問 日本損害保険協会　静岡支部
☎054－252－1843

骨髄バンクドナー登録

白血球型を調べるための採血とドナー（提供者）登録の手続きを行います。検査前日の16時までに電話予約してください。
日　時　2月13日(木)（要予約）
場　所　賀茂保健所1階　相談室
対　象　18歳から54歳（男性45kg以上、女性40kg以上）の人
内　容　骨髄バンクについての説明、問診、検査用血液の採取など（約30分）
問 賀茂保健所　地域医療課
☎24－2052

うまい話には裏がある

依然として後を絶たない勧誘詐欺、県内では12月2日までに101件、7億3, 164万円の被害があり、昨年と比べても被害件数は63件増、被害額は3億6, 430万円増と急増しています。

未公開株や社債、外国通貨、水資源の権利などの購入を勧誘するパンフレットを郵送し、儲け話を持ちかけお金を要求してきます。

下田警察署管内でも発生していますので、他人事と思わずに危機感を持ちましょう。
問 下田警察署管内防犯協会
☎27－2766

募　集

訪問介護員研修を開催

介護サービスの適正な提供および質の向上を図る研修を開催します。
日　時　1月31日(金)、2月1日(土)
2月15日(土)の3日間
9時～16時
場　所　みくらの里
（下田市吉佐美）
対　象　指定訪問介護事業所におけるサービス提供責任者
内　容　訪問介護適正実施研修、技術向上研修「対人援助コミュニケーション」
参加費　無料
申　込　1月17日(金)まで
問 社会福祉法人　梓友会
☎27－3000

放送大学４月生を募集

平成26年度第1学期（4月入学）の学生を募集します。

放送大学は、テレビなどの放送を利用して授業を行う通信制の大学です。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。無料で資料を郵送します。
出願期間　2月28日(金)まで
問 放送大学静岡学習センター
☎055－989－1253

在宅介護を学ぼう

介護や自分の老後について、みんなで一緒に考えてみませんか。
日　時　1月15日(水)13時～15時
場　所　保健福祉センター
ふれあいホール
定　員　20人
問 サンシニア河津　☎32－3203

福祉の仕事就職フェア

日　時　2月8日(土)　12時～16時
場　所　キラメッセぬまづ
1階多目的ホール
（沼津市大手町1-1-4）
対　象　福祉職場に就職を希望する一般および学生
内　容　出展法人PRタイム、合同就職面接会（13時～）など
参加費　無料
申　込　不要(出展希望は下記まで)
問 県社会福祉人材センター
☎054－271－2110　FAX054－272－8831

75歳からは国保から後期高齢者医療へ

Let's ほけん塾 1

日本では、すべての人がいずれかの医療保険に加入しなければならないことになっています(国民皆保険)。国民健康保険（国保）は、その医療保険のひとつです。

75歳になると、全員が国保を抜けて、後期高齢者医療制度に加入します。このとき、届出は必要ありません。(一定の障がいがある人は65歳以上75歳未満で認定により加入)。

国保の保険証は毎年10月1日で更新ですが、今年の9月30日までに75歳になる人は、保険証の有効期限が75歳の誕生日の前日までになっています。

後期高齢者医療制度の保険証は、75歳の誕生日の前月に郵送でお届けしています。

＊「むずかしい」「よくわからない」といわれる国保と後期高齢者医療の制度。今月から情報をお知らせしていきます。

問 町民生活課保険年金係
☎（34）1932

活発に意見を出し合う会員

kawa－jin かわづの人

町災害ボランティアコーディネーター連絡会

会長　石田宗重さん（前列中央）
会員　16人

ボランティアに感謝し、円滑な活動を

皆さんは「ボランティアコーディネーター」をご存知ですか？　災害発生時、全国各地から被災地に集まるボランティアの活動に混乱が生じないよう、復旧を求める声との調整を図る、言わば「被災者とボランティアを結ぶ架け橋のような存在」です。

町にも昨年4月「町災害ボランティアコーディネーター連絡会（石田宗重会長）」が組織されました。連絡会は町内で災害が起こった際、復旧の要望があった個人宅へボランティアを円滑に送り出す訓練を行ったり、実際に会員自ら他の地域へ支援活動に参加したりと活動は多岐にわたります。

取材させていただいたときは、11月17日に行われた町災害ボランティア本部立上訓練の反省会でした。訓練を終えて、個々で感じた疑問や改善点を会員同士で話し合い、次の活動に活かしていこうとする姿勢からチームワークの良さを感じました。石田会長は「災害時に駆けつけてくれるボランティアに感謝の気持ちをもって、スムーズかつ安全に活動できるようサポートを心がけています」と話します。

災害時の早期復興に、連絡会はなくてはならない組織だと思います。最後に石田会長は「これからは、第一に災害ボランティアの活動を多くの人に知っていただき、町内各地区のネットワークを地道に築いていきたい」と話してくれました。ボランティアコーディネーターに興味がある人は連絡会Tel（34）1286まで。

【取材】飯田喜治さん（民間広報協力員）

ちょっとひとこと

表紙は、町・町観光協会・町商工会・JAなどで構成する町産業経済活性化連絡協議会主催の「河津寄って軽トラ市」の様子です。町内初の軽トラ市は12月8日、笹原地区姫宮通りで行われました。歩行者天国になった会場は、30台の軽トラックなどがずらりとならび、車の荷台をお店に見立て地場産品や雑貨、工芸品などを販売し、多くの来場者でにぎわいました。多くの人が来場し、活気にあふれる商店街はにぎやかで、楽しいひとときを満喫しました。（k）

姉妹都市長野県白馬村通信

冬季災害救助訓練

ゴンドラから乗客を救出する訓練の様子

白馬村と小谷村は多雪地域でスキー場や急傾斜地を多く抱えることから、雪崩等の災害が起きる可能性が他の地域に比べ大変高くなっています。こういった事故へ的確に対応するために、専門的な知識と技術が要求されることから、12月4日（水）に実践的訓練として北アルプス広域消防・索道事業者・消防団合同での訓練を行いました。当日は高さ十数メートルの位置でスキー場のゴンドラが停止してしまい乗客が取り残されたという想定で救助隊が乗客を救出するという実践訓練や消防団によるゾンデ棒という用具を用いた雪崩捜索訓練が実施されました。

■発行　河津町役場　〒413-0595静岡県賀茂郡河津町田中212-2 ☎0558-34-1111　■編集　まちづくり推進課　■印刷 ㈲サン印刷
■河津町ホームページアドレス　http://www.town.kawazu.shizuoka.jp/　■Eメール　info@town.kawazu.shizuoka.jp